

学校経営の概要

校訓 『親和』

(1) 教育目標

校訓「親和」の精神に則り、自他の命と人権を尊重し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動できる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。

(2) めざす子供像

- ・ 明るく素直で、礼儀正しい子供
- ・ 進んで学び、よく考え、工夫する子供
- ・ 進んで体をきたえる子供
- ・ 思いやりがあり、支え合う子供
- ・ 郷土や自然を愛する心豊かな子供



知恵島小学校人権キャラクター
【 思 い や り ん ご 】

児童会のめざす子供像

- あいさつは 大きな声ではっきり言おう
- みんなで仲よく助け合おう
- 外で元気に遊ぼう
- 友だちのよいところを見つけよう
- 進んでごみを拾おう
- 人のいやがることを言わないようにしましょう

知恵島っ子 いじめ防止宣言

- 人のいやがることをしない、言わないようにします。
- みんなで力を合わせて、助け合います。
- 困っている人がいたら、笑顔ですぐに声をかけます。
- すなおな気持ちで「ありがとう」「ごめんなさい」を言います。
- 人の話をしっかり聞き、目標に向かってみんないっしょに進んでいきます。
- 気持ちのよいあいさつで、心と心をつないでいきます。

(3) めざす学校像

- ・ 児童の笑顔があふれ、つながりあい、ともに輝く学校
- ・ 保護者や地域から信頼される学校
- ・ 一人一人の教職員が存在感を感じる学校

(4) めざす教師像(教育愛、教師力、豊かな人間性)

- ・ 心身ともに健康で、明るく豊かな人間性をもつ教師
- ・ 教育に生き甲斐と喜びをもち、仕事の処理が正確で、迅速かつ慎重にできる教師
- ・ 愛情と情熱をもって児童に溶け込み、率先垂範する教師
- ・ 児童一人一人の才能や個性を見つけ、引き出して育てる教師
- ・ 児童をかけがえのない人格として尊重し、公平に愛情を注ぐ教師
- ・ 児童に、生きる希望や夢を与える教師
- ・ 豊かな教養と自らの教育実践を反省・改善し、絶えず研修に励む教師
- ・ 児童と心でふれ合い、優しさと厳しさをもって指導する教師
- ・ 児童や保護者、地域の人たちに信頼される教師
- ・ 全校的な視野で、全教職員が心を合わせて学校づくりに励む教師

(5) 経営方針

- ・ 経営の視点を常に児童に置き、児童の心身の健やかな成長をすべての教育活動の基本とする。
- ・ 全教職員の総意と英知を結集して、共通理解のもと、教育目標の具現化に努める。
- ・ 各教職員が長所を最大限に発揮し、活気ある学校づくりに努める。
- ・ 教育の尊厳性と使命感を自覚し、教育専門職としての資質の向上を図る。
- ・ 児童理解に努め、一人一人を大切に、個性の伸長と社会性の育成を図り、その能力を最大限に伸ばすよう努力する。
- ・ 本校の輝かしい歴史と伝統を継承するとともに、創意と工夫を加え、新たな伝統を創造する。
- ・ 郷土の美しい自然や文化に接し、先人の偉業を知り、郷土を愛する心を育てる。
- ・ 家庭、地域社会、市内各こども園・校、関係諸機関との連携を密にし、保護者や地域の信頼に応える。

(6) 本年度の重点目標と具体策

本年度重点目標

「確かな学びを育み、ともに輝く児童の育成」

～「ひと・もの・こと」との出会いづくり、つながりづくりをとおして～

①学力向上に向けた授業改善

ア. 指導方法を工夫し、基礎・基本の定着を図る。

- ・ 「わかる授業」に向け、体験的な活動、具体物の活用等、児童への手立てのあり方を工夫改善する。
- ・ 発問の工夫と精選を行った授業づくりをする。
- ・ 本時の「まとめ」や「振り返り」を充実させる。
- ・ ICTを有効に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。
- ・ 家庭学習の定着を図る。
- ・ 読書の習慣化、読書活動の充実を図る。

イ. 言語活動の充実を図る。

- ・ 書く活動で自分の考えを確かなものにする。
- ・ 発表の場・方法を工夫し、よく聞いて伝える力を育てる。
- ・ 視写等をとおして、読解力や文章力の育成と知識の習得を図る。

②子供の安心・安全を守り抜くための安全管理・安全指導体制の徹底

ア. 食事前や清掃後、外遊びの後などの手洗いうがいを励行させる。。

イ. 気温や感染症の流行に応じて、帽子・マスク等を適切に使用できるようにする。

ウ. 事故防止に向けた安全点検を確実にを行う。

③心豊かで思いやりのある児童の育成

ア. 人権教育・道徳教育・特別活動の充実を行う。

- ・ 自他の良さに気づく活動を工夫する。
- ・ 体験活動等をとおして、人とのつながりの大切さに気づかせる。

イ. 相手を思いやった正しい言葉遣いができるようにする。

- ・ おもいやりんごカードを活用し、意識づけを行う。

④生徒指導の充実

ア. 基本的な生活習慣を確立する。

- ・ 自分から進んで元気のよいあいさつをする。
- ・ 時間を意識した生活を送る。
- ・ 学校美化に進んで取り組む。

イ. 授業規律を確立する。

- ・ 授業のルールを身につける。

⑤体力向上への工夫

ア. 進んで心と体をきたえる児童を育てる。

- ・ 運動する楽しさを味わう場を工夫する。

- ・外遊びを奨励する。
- ・ラジオ体操朝会を行う。

⑥家庭・地域との連携

- ア. 基本的な生活習慣の確立を図る。
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん」で規則正しい生活リズムを身に付けさせる。
- イ. 情報発信・情報共有に努め、学校・家庭・地域のより一層の連携を図る。
 - ・HPや学校だより等を通じて、教育活動の様子等について積極的に情報発信を図る。
- ウ. 地域の教育資源(ひと・もの・こと)の積極的活用と開発を行う。
 - ・地域学習、キャリア教育等を通じて、「ひと・もの・こと」との出会いづくりを積極的に行う。
 - ・外部講師の積極的活用を行う。

(7) 留意点

①教職員の持ち味を活かしたチームとしての学校運営

- ア. 社会や子供の変化に応じて、また組織の一員として活動する。
 - ・PDCAサイクルで行事等の改善を図る。

②他者と協働し、見通しを持てる教職員

- ア. 心身の健康を保つ。
 - ・疲れをためない、無理をしない(同僚への声かけ・週に1日は、ノー残業デー)。
 - ・何でも話し合える職員室(一人で抱え込まない、悩まない)。
- イ. 教職員集団の凝集性を高める。
 - ・他の教職員のよいところを学び、共に伸びていく姿勢を持つ。
 - ・徳島型メンター制度により、教職員相互の人材育成を図る。